

準 奨 励 品 種
水稲（うるち）「ユメコガネ」

（農試 県北分場 技術部）

1 来歴

「ユメコガネ」は昭和61年に青森県農業試験場藤坂支場において、極早生・耐冷・良食味品種の育成を目標として、「ゆきひかり」を母とし、「ハツコガネ」を父として人工交配を行った雑種から育成された。岩手県においては、平成4年から奨励品種決定予備調査、平成5年から奨励品種決定本調査及び現地調査に供試して収量並びに特性を検討した結果有望と認められた。

2 特性の概要

- (1) 出穂期・成熟期とも「いわて26」並の「極早生」である。
- (2) 成熟期の稈長は「いわて26」並～やや長く、穂長は「いわて26」並、穂数は「いわて26」より多い、短稈偏穂重型品種である。
- (3) 着粒密度は「やや密」で、一穂粒数は「いわて26」よりやや少ない。
- (4) 耐倒伏性は「いわて26」並の「やや強」である。
- (5) 収量は「いわて26」並からやや少ない。
- (6) いもち病真性抵抗性遺伝子はPi-a, k, taを持つと推定され、圃場抵抗性は葉・穂とも「中」で「いわて26」並である。
- (7) 「いわて26」に比較して粒厚が薄く、千粒重はやや小さいが、外観品質は並からやや優る。
- (8) 玄米の搗精歩留まりは「いわて26」並だが、搗精時間は早い。
- (9) 障害型耐冷性は「いわて26」より強い「極強」である。
- (10) 食味評価は「いわて26」よりやや優る。

3 準奨励品種に採用する理由

「いわて26」は極早生で、岩手県中北部の標高が概ね350m以上の地帯に普及している。この地域は稲作栽培適地区分の限界地に相当する厳しい気象条件であり、作柄の安定のため耐冷性が強く、熟期が早く、より良食味な品種の導入が求められている。

「ユメコガネ」は「いわて26」と比較して出穂期・成熟期とも並であり、耐冷性は極強で「いわて26」よりも強く品質・食味とも「いわて26」並から良好である。

以上の特性を持つ「ユメコガネ」を、本県中北部高標高地帯での作柄の安定を図る目的で採用する。

4 適応地域

- (1) 普及可能面積：250～350ha
- (2) 普及地帯：県中北部の概ね標高が350m以上の地帯で、現在「いわて26」が作付けされている地域。

5. 栽培上の留意点

- (1) 催芽時間が長くかかる傾向にあるので、浸種・催芽を十分に行い、加温出芽を励行する。
- (2) 穂数は取れやすいが一穂粒数は少ないので、早期に有効茎を確保するため中成苗等で健苗育成に心がけ、初期水管理に留意し生育の促進を図る。
- (3) 多肥では品質が落ち登熟歩合が低下し収量が不安定になるので、基肥は「いわて26」並とする。なお、一穂粒数が少ないので、粒数確保のため追肥は幼穂形成期重点とし、量は窒素成分で2kg/10a程度を基本とする。

- (4) いもち病圃場抵抗性は葉・穂とも「中」であることから、防除基準に従い適期防除に努める。
 (5) 刈取適期は当面は登熟積算気温で900~1000℃を目安とし、実際の登熟状況を観察しながら、早刈や刈遅れとならないようにする。

6. 試験成績の概要

(1) 農業試験場の試験結果

品種名		ユメコガネ	いわて26
早晩性		極早生	極早生
草型		偏穂重型	偏穂重型
試験場所		県北分場	県北分場
標肥	出穂期(月/日)	7/28	7/28
	成熟期(月/日)	9/10	9/10
	稈長(cm)	72.0	71.6
	穂長(cm)	16.4	16.3
	穂数(本/m ²)	483	453
	千粒重(g)	21.5	22.0
	精玄米重(kg/a)	56.0	59.4
	対 いわて26	94	(100)
	出穂期(月/日)	7/29	7/29
	成熟期(月/日)	9/12	9/12
多肥	稈長(cm)	77.9	75.8
	穂長(cm)	16.7	17.2
	穂数(本/m ²)	520	477
	千粒重(g)	21.1	21.6
	精玄米重(kg/a)	57.3	57.2
	対 いわて26	100	(100)
対倒伏性		やや強	やや強
穂発芽性		やや難	やや難
耐冷性		極強	強
いもち耐病性	葉いもち	中	-
	穂いもち	中	-
玄米品質		中中	中下
食味		中中~中上	中中

※データは平成6・7年の平均値

2) 現地試験の結果

現地試験場所 (普及センター名)	品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	玄米重 (kg/a)	同左比 (%)
一戸町奥中山 (二戸)	ユメコガネ	8/6	9/18	43.2	116
	いわて26	8/5	9/18	37.1	(100)
沢内村高下 (湯田)	ユメコガネ	8/6	9/22	35.5	100
	いわて26	8/4	9/18	35.6	(100)

※データは平成6・7年の平均値(玄米重は奥中山1.7mm, 高下1.9mm調製)